朔風

令和元年１１月８日（金）　芸術教室

発行・編集
能代工業高校　広報部
住所：秋田県能代市盤若町 3-1
電話：0185-52-4148
URL：http://www.noshitech-h.akita-pref.ed.jp

芸術教室　東京芸術座「Challeng・ed ―遠い水の記憶―」

日常の授業などで触れる機会の少ない芸術をライブで鑑賞することによって、創造性や完成を磨くことが目的で３年に１度開催しています。１１月８日（金）能代文化会館大ホールに於いて、統合を控えた能代西高等学校と合同開催で行われました。今回は演劇「Challeng・edー遠い水の記憶ー」を鑑賞しました。主人公であるオリンピックでメダルを期待されていた水泳選手が国内でまさかの敗退します。挫折し苦しんでいた時に公立盲学校の校長から「視覚障害の生徒たちに水泳を教えてほしい」と懇願され教職に就きます。生徒たちとの葛藤と交流の中から自分自身の目標を見出し、共に成長を目指して進むという実話に基づいた物語でした。

《生徒の感想を紹介します》

・題材である健常者と障害者との関係や、挑戦することの大切さについて考えさせられた。これまで何かに積極的に参加したり、何かしらの目標に向かって挑戦するとういことをしてこなかったので、今日の鑑賞は自分自身を見直す良いきっかけとなった。障害者に対する考え方も変わった。今後は、差別や偏見などなく接していきたい。

・「悪意のない同情」が一番不快であるという事実に衝撃を受けた。障害を持っている人にとって、障害を持っている生活が日常になっているなかで、「かわいそう。」「大変だね。」などという言葉は、周りと対等に扱われていないことと同じなのだと分かった。

・人生にはいろいろな道があるのだと感じた。一度夢をあきらめても再びチャンスはある。何度でも努力すれば、人は変わることができるのだと感じた。

・体が不自由なりにも、強いチャレンジ精神を持って努力する生徒一人ひとりの姿に感動した。

・俳優の演技の迫力や臨場感のある演出に圧倒され感動した。

鑑賞後には劇団の方と両校の生徒会生徒との座談会も行われました。